

社協だより

しろいし

No.86

令和7年
4月1日発行

～支えあう まちづくり～

福岡中学校に車イスバスケットの
男子日本代表選手がやってきた!!

いとうあきのぶ
伊藤明伸選手（パリパラリンピック出場・宮城
MAX所属）



社会福祉
協議会とは

地域のお子さんから高齢者の方まで、みなさんが生涯を通して安心して暮らせるよう、福祉活動の参加・利用の支援、日常生活などの相談受付、募金・ボランティア活動、介護保険事業などを行う法人です。

社会福祉法人白石市社会福祉協議会

「社協だよりしろいし」は、赤い羽根共同募金の配分金を財源に発行しています。



令和7年度 事業計画及び予算

「誰もが住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らし続けられる地域づくり」の実現に向け、福祉活動の参加・利用の支援、日常生活などの相談受付、募金・ボランティア活動、介護保険事業など各種地域福祉事業に取り組んでいきます。

重点目標

- ① ともに支え合う地域づくりの推進
- ② 小地域福祉活動の推進
- ③ 在宅福祉サービスの推進
- ④ 組織体制の強化と自主財源の確保

1. 法人運営事業

- (1) 法人運営事務事業
- (2) 助成事業
- (3) 地域生活支援事業
- (4) 社会福祉大会事業
- (5) 地域福祉活動計画事業
- (6) 災害ボランティアセンター事業

2. 共同募金配分事業

- (1) 共同募金配分事業

3. 地域福祉推進事業

- (1) 生活福祉資金事務事業
- (2) 福祉サービス利用援助事業《まもり一ぶ》
- (3) 高齢者等地域ささえ愛互助活動支援事業
- (4) 生活困窮者支援事業
- (5) 子どもの学習等支援事業
- (6) 生活支援体制整備事業

4. やまぶき園管理者運営事業

- (1) 福祉作業所やまぶき園事業
- (2) 福祉プラザやまぶき事業

5. 介護保険事業

- (1) 訪問介護事業
- (2) 居宅介護支援事業

6. 障害福祉事業

- (1) 居宅介護事業

7. 緊急援護事業

- (1) 生活安定資金事業
- (2) 生活安定資金欠損補填積立事業
- (3) 母子福祉対策資金事業
- (4) 応急小口資金貸付事業

新年のご挨拶



会長 あさくら ひでお
朝倉 秀雄

白石市民のみなさま、日頃より白石市社会福祉協議会の諸活動に対しまして、深いご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

お陰様で令和6年度も大過なく経過し、予定どおりに事業を推進することができました。ありがとうございました。

新型コロナウイルスやインフルエンザなど、感染症予防には十分にご注意いただき、健やかに過ごしていただきたいと思っております。

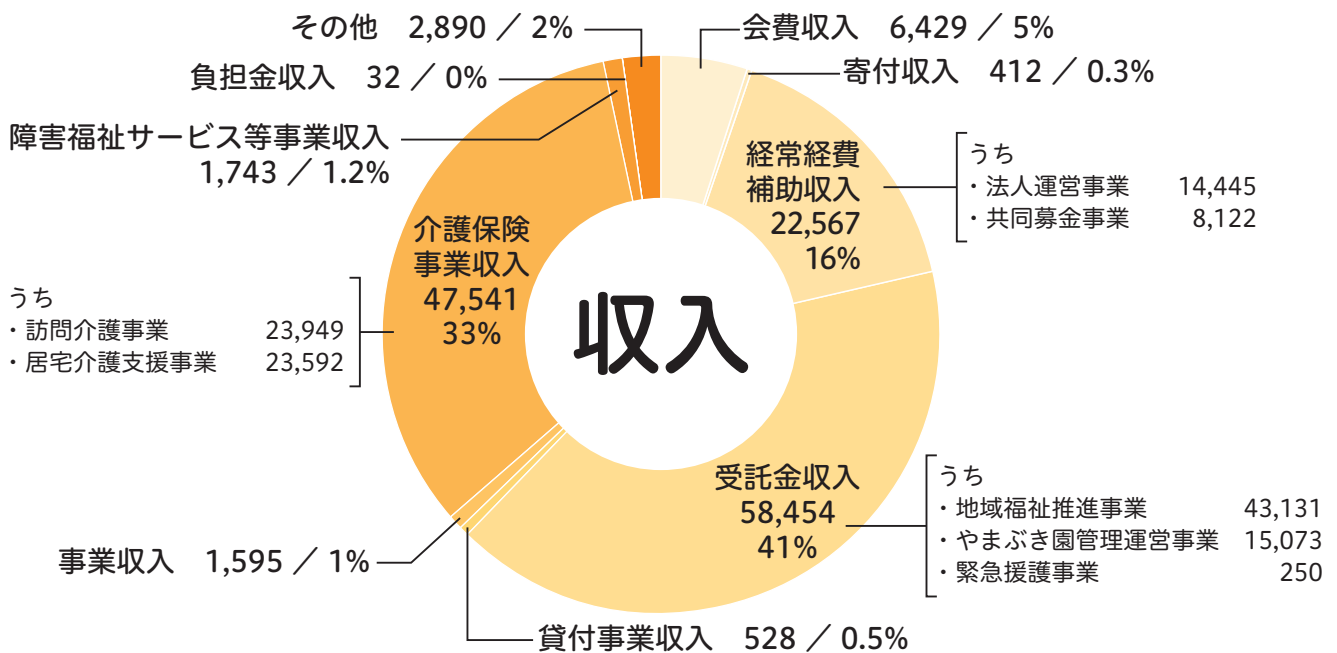
市民のみなさまの福祉向上に貢献することが、社会福祉協議会の使命です。新年を迎え、役職員一同心を一つにして、より一層力を尽くしてまいりますので、ご指導のほどどうぞよろしくお願いいたします。



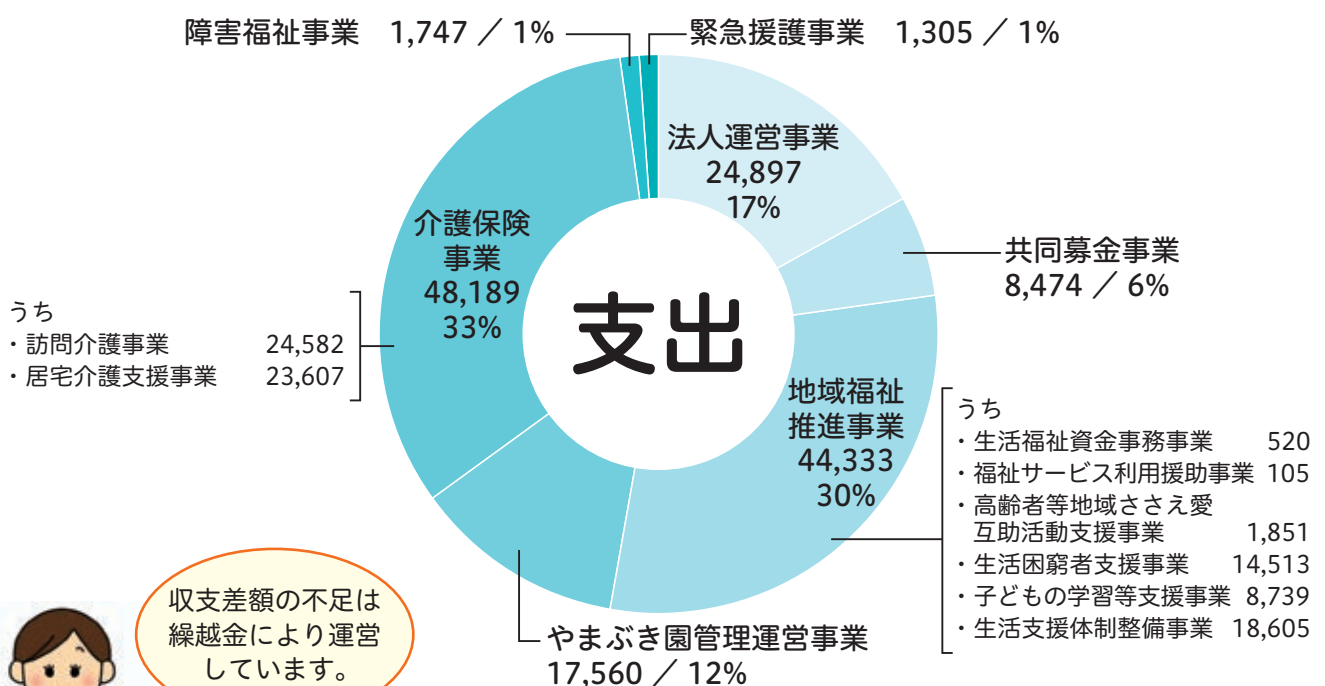
収 支 予 算

(単位：千円)

●収入総合計額 1億4,219万1千円



●支出総合計額 1億4,650万5千円



収支差額の不足は
繰越金により運営
しています。



社協会費のお願い

～住民一人ひとりの「力」が大きな力になる～

みなさんの会費が地域の福祉活動を支えています

少子高齢化が加速している今日において、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が増えており、介護予防、認知症予防が重要になっています。

また、新型コロナウイルスが与えた行動制限や抑制、家族形態の多様化などから子育て環境が変化するほか、生活困窮者世帯や引きこもりなど、多くの地域課題が生じています。

白石市社協は「誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくり」を目指して取り組んでいます。次のページに記載している様々な地域福祉活動は、みなさんからの貴重な社協会費によって支えられています。

今年度も、白石市民のみなさんをはじめ、法人、団体など、多くの方々に会員になっていただき、地域の支え合い活動をますます発展・活性化していくため、会費納入にご協力くださいますようお願いいたします。



● 会費の種類と金額

会費の種類		金額
一般会員	白石市民の方	年額 600円
特別会員	社協事業にご賛同いただける個人の方	年額 1,000円以上
特別賛助会員 (法人・団体)	市内の社会福祉施設、法人・団体	年額 2,000円以上

令和6年度社協会費実績報告

みなさんからのたくさんのご協力ありがとうございました！

昨年度は、みなさんからのあたたかいご支援と白石市自治会連合会各支部のご協力により **6,259,000円** の会費が寄せられました。誠にありがとうございました。

支部	会員数(人)	会費実績額(円)	支部	会員数(人)	会費実績額(円)
白石	5,456	3,280,400	大鷹沢	564	341,200
越河	431	263,000	白川	460	290,400
斎川	297	188,600	福岡	2,092	1,258,000
大平	785	481,800	小原	250	155,600

合計

会員数
10,335

会費総額
6,259,000円

[令和7年3月31日現在]

社協会費活用事業のご紹介

社協会費は、福祉活動推進のための大切な財源として、児童福祉・高齢者福祉・障害者福祉・ボランティア・福祉教育の推進・各地域における福祉団体への助成に活用させていただいています。

ブックスタート事業

～絵本を開く楽しさをお届けします～

ブックスタートとは、検診などの機会に、絵本を開く楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。

抱っこのぬくもりの中で絵本を読んでもらう心地よさや嬉しさを赤ちゃんに届けます。

本会では、子育て支援事業として「ブックスタート事業」を実施しており、市の6か月児育児相談で絵本を贈呈しています。



小学校入学応援事業

～新入学のお子さんに祝福とエールを～

小学校入学を祝福するとともに、小学校生活で活用できる物品を贈呈し、お子さんの生活・学習を応援します。



車イス自動車貸出事業

外出が困難な高齢者または障害がある方などに、車イスのまま乗降が可能な「車イス用自動車」の貸出を行い、外出を支援します。



地域福祉活動計画

～住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域を目指して～

地域の福祉課題に寄り添った具体的な取り組みを計画化し、誰もが安心して暮らし続けることができるまちづくりを推進します。



大平地区では「介護保険の勉強会」を開催。地域住民も寸劇に参加し好演しました。

生活困窮者支援事業

生活相談や見守り活動を通じて、病気や低収入などにより生活に困っている世帯へ、最低限必要な生活用品を支援します。





福祉体験学習

当社協では、市民のみなさんの温かい善意の気持ちで寄せられた「赤い羽根共同募金」の一部を使用して、市内の小学校・中学校で開催される福祉体験学習の助成を行っています。

小原小中学校

全校生による ニュースポーツ体験

令和5年度に続き、小学校から中学校まで全児童・生徒と教諭のみなさんとでニュースポーツを体験。今回はモルックに初挑戦。スーパープレイが続出して大盛況の体験学習でした。(R6.11.26 開催)



福岡小学校

白杖・車いす・不自由体験

視覚や上下肢に障害があったら…。利き腕が使えなくなったら…。など、それぞれ体験することで「相手の気持ちになって考え行動することの大切さ」を学ぶことができました。(R6.12.4 開催)



福岡中学校

車イスバスケット体験

初めて競技用の車イスに乗り、パラスポーツのバスケットを体験。男子日本代表 伊藤明伸選手いとうあきのぶの障害を感じさせない俊敏なプレーに釘付けになる生徒たちでした。(R7.1.17 開催)

にこやかに生徒と対戦する伊藤選手 (中央) ▶



令和6年度白石市生活支援体制整備事業研修会 「笑いは心の万能薬」

令和7年1月16日（木）日本笑い学会会員・歯科衛生士 伊藤恵子先生をお招きし、東北弁満載の楽しい研修会を開催しました。集まって話して笑うことが健康長寿の秘訣。地域活動をエンジョイしましょう！



介護予防運動指導員 巨泉猛先生

令和6年度白石市ボランティア連絡協議会研修会

令和6年6月25日（火）市内のボランティア団体10団体が登録しているボランティア連絡協議会で研修会を開催しました。8団体37名が参加され、巨泉先生の楽しい白石弁トークに大笑いしながら健康長寿のための時間を共有しました。



健康運動指導士 齋藤幸子先生

令和6年度ふれあいサロン研修会

令和6年12月3日（火）午前・午後の2回に分けてサロン研修会を開催し、合計で37団体100名が参加されました。日々のサロン活動で活用できるように、齋藤先生から脳トレのねらいや盛り上げるためのちょっとした工夫などを学びました。

ボランティア保険・ボランティア行事保険 令和7年度受け付け

ボランティア保険

自発的な意思による他人や社会に貢献する無償のボランティア活動で、団体の会則に則り企画・立案された活動であるか、社会福祉協議会に届け出た活動などの要件を満たす場合に加入できる保険です。



補償内容	傷 害	ボランティア活動中の事故によるボランティア本人のケガ
	賠償責任	ボランティア活動中に他人にケガをさせてしまった場合や他人の物に損害を与えてしまった場合など
保 険 料	300円～800円（補償に応じた5種類のプランがあります。）	

ボランティア行事保険も随時受け付けます。

受賞おめでとうございます

令和6年11月20日（水）に開催された第93回全国民生委員児童委員大会において、下記の方々が受賞されました。誠におめでとうございます。

令和6年度全国民生委員児童委員表彰 永年勤続民生委員・児童委員表彰

秋山 きみ子（白石）様 阿子島 美代子（白石）様 太宰 和枝（白石）様
 佐藤 れい子（白石）様 伊藤 敏雄（白石）様 平間 紀子（大平）様
 小関 久美（大平）様 佐藤 美智子（大平）様 佐藤 喜一（白川）様



フードバンク事業にご寄付をいただきました。 ～地域貢献に感謝～

令和7年1月21日（火）、ダイナム白石店様から「白石市の福祉の一助となれば…」と缶詰などの食品やお菓子・日用品など、たくさんのご寄付をいただきました。

支援を必要とする方などへ活用させていただきます。ありがとうございました。



「令和6年度二十歳を祝う会」募金の寄附金贈呈式

令和7年2月4日（火）、『令和6年度二十歳を祝う会』で集まった募金の寄附贈呈式を行いました。令和6年度二十歳を祝う会実行委員長の河村太樹^{かわむらたけ}さんは、「みなさんから募金していただき集まった21,181円は、地域福祉のために活用してほしい」と語ってくれました。



白石市母子寡婦福祉会が75年余りの歴史に幕を下ろしました。

昭和26年から、社会福祉の一助になればと施設慰問や寡婦や母子家庭の世帯交流を図る活動等を続けて来られた「白石市母子寡婦福祉会」ですが、高齢化等の諸事情により令和7年3月末日をもって解散となりました。

長い間大変お疲れ様でした。たくさんの支援活動、本当にありがとうございました。



移動研修での様子

あたたかい善意ありがとうございました

福祉に活用してほしいと、みなさんから温かい善意が寄せられました。

◆ご寄付の御礼（令和6年11月1日～令和7年2月28日）

- 匿名希望 様/食品類 ●匿名希望 様/玄米30Kg ●匿名希望 様/25,000円
- 匿名希望 様/20,000円 ●匿名希望 様/玄米60Kg ●智 俊郎 様/玄米30Kg
- 匿名希望 様/30,000円 ●(株)ダイナム白石店 様/日用品・食料品 ●白石千成会 様/53,517円 ●匿名希望 様/28,000円 ●令和6年度白石市二十歳を祝う会 様/21,181円 ●匿名希望 様/玄米30Kg ●白石高等学校 様/242,244円
- 匿名希望 様/玄米60Kg ※いただいたお米等はフードバンク事業に活用しています。

◆自動販売機売り上げの一部が寄付され、地域福祉に充てられます。

- トーカドエナジー（株）白石工場様 / 5,981円
 - 東北電力ネットワーク（株）白石電力センター様 / 4,190円
- （令和6年11月1日～令和7年2月28日）



社会福祉法人 白石市社会福祉協議会

〒989-0231 宮城県白石市福岡蔵本字茶園 62-1
（白石市総合福祉センター内）

TEL：0224-22-5210 FAX：0224-22-1571
生活総合相談：0224-22-2130



しろいし社協

○E-mail：info@shiroishi-shakyo.jp

○白石市社協ホームページ <https://shiroishi-shakyo.jp/>

○公式 Facebook もぜひご覧ください。 [Qしろいし社協 検索](#)

